資料3 温室効果ガス排出量の算定方法

温室効果ガス排出量の算定には、温対法の施行令第3条に規定されている温室効果ガス排出係数 及び施行令第4条に規定されている地球温暖化係数を用いています。また、電気の使用に伴う排出 係数については、電力会社の公表値を用いています。

(1) 区域施策編の算定方法

各部門の温室効果ガス排出量の算定は、ガイドラインに基づき、下表の方法により行います。

 CO_2

野	部門		算定式	出典				
ネル	ギー起源							
エネルギー起源CO ₂								
j	産業部門							
		電力注	◆電気販売業=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県)×市製造品出荷額/県製造品出荷額 ◆CO2排出量=電気販売量×排出係数	都道府県別エネルギー消費統計(源エネルギー庁)、新潟県統計年(新潟県)				
	製造業	都市ガス	◆CO ₂ 排出量=都市ガス販売量×排出係数等	上越市統計要覧				
		石油製品等	◆エネルギー消費量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県) ×市製造品出荷額/県製造品出荷額 ◆CO₂排出量=エネルギー消費量×排出係数等	都道府県別エネルギー消費統計(源エネルギー庁)、新潟県統計年 (新潟県)				
		電力 ^注	◆電気販売量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県)×市 就業者数/県就業者数 ◆CO ₂ 排出量=電気販売量×排出係数	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)、経済センサス 務省)				
	建設業・鉱業	都市ガス	◆CO₂排出量=建設業・鉱業向け都市ガス販売量×排出係数等	上越市統計要覧				
	<i>У</i> Д.Ж	石油製品等	◆エネルギー消費量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県) ×市就業者数/県就業者数 ◆CO₂排出量=エネルギー消費量×排出係数等	都道府県別エネルギー消費統計(源エネルギー庁)、経済センサス(務省)				
		電力注	◆電気販売量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県)×市 就業人□/県就業人□ ◆CO ₂ 排出量=電気販売量×排出係数	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)、上越市統計要別 新潟県統計年鑑(新潟県)				
	農業	都市ガス	◆CO ₂ 排出量=都市ガス販売量×排出係数等	上越市統計要覧				
		石油製品等	◆エネルギー消費量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県) ×市就業人□/県就業人□ ◆CO ₂ 排出量=エネルギー消費量×排出係数等	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)、上越市統計要別 新潟県推計人口(新潟県)				
	民生部門							
		電力注	◆電気販売量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県)×市 従業者数/県従業者数 ◆CO₂排出量=電気販売量×排出係数	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)、新潟県統計年 (新潟県)				
	民生 業務	都市ガス	◆販売量=都市ガス販売量合計-他分野向け都市ガス販売量 ◆CO ₂ 排出量=都市ガス販売量×排出係数等	上越市統計要覧				
		LPガス・ 軽油・ 重油	◆エネルギー消費量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県) ×市従業者数/県従業者数 ◆CO₂排出量=エネルギー消費量×排出係数等	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)				
		電力 ^注	◆電気販売量=都道府県別エネルギー消費統計(新潟県)×市世帯数/県世帯数 ◆CO₂排出量=電気販売量×排出係数	都道府県別エネルギー消費統計 源エネルギー庁)、上越市統計要				
	民生	都市ガス	◆CO₂排出量=都市ガス販売量×排出係数等	上越市統計要覧				
	家庭	LPガス	◆LPガス消費量=新潟市の世帯当たり年間購入量×市世帯数× (1 - 都市ガス普及率) / (1 - 新潟市都市ガス普及率) ◆CO₂排出量=家庭用LPガス消費量×排出係数等	家計調査(総務省)				
		灯油	◆家庭用灯油消費量=新潟市の世帯当たり年間購入量×市世帯数 ◆CO₂排出量=灯油消費量×排出係数等	家計調査(総務省)				

注:2016(平成28)年4月から電力小売全面自由化が開始となった影響で、電力会社から情報提供を受けていた市内の電力販売量が 把握できなくなったため、2016 (平成28) 年度算定分から、都道府県別エネルギー消費統計から人口按分により市の電力使用量 を算出し、部門別の増減率を2015 (平成27) 年度実績に乗じて算定した。

分野		部門		算定式	出 典				
エネ	エネルギー起源								
	エネルギー起源CO ₂								
	運	輸部門							
		自動車	ガソリン・ LPG・ CNG	◆市自動車エネルギー消費量=北陸信越運輸局の車種別燃料別燃料使用量/北陸信越運輸局の車種別燃料別保有台数×市車種別燃料別保有台数 ◆CO₂排出量=業務用エネルギー消費量×排出係数	自動車燃料消費量統計年報(国土交通省)				
			●JR東日本・ ◆CO ₂ 排出量	西日本 ╂=鉄道事業者別CO₂排出量/全営業キロ数×市営業キロ数	JR東日本:グループレポート JR西日本:データで見るJR西日本				
		鉄道	●ほくほく線 ◆CO ₂ 排出量	{ ==電気消費量/全営業キロ数×市営業キロ数×排出係数	ほくほく線:北越急行株式会社への聞き取り調査 日本海ひすいライン・妙高はねう				
				'いライン・妙高はねうまライン 【=電気消費量/全営業キロ数×市営業キロ数×排出係数	まライン:えちごトキめき鉄道株式会社への聞き取り調査				
		船舶	貨物	◆CO₂排出量=船舶分エネルギー消費統計/国船舶分輸送量× 市船舶分輸送量×排出係数等	「総合エネルギー統計」(資源エネルギー庁)				
			旅客	◆CO₂排出量=直江津航路エネルギー消費量/2×排出係数等	佐渡汽船への聞き取り調査				

分野	部門		算定式	出典					
非工	非エネルギー起源								
廃	廃棄物								
	廃棄物部門								
	廃棄物 の焼却	一般廃棄物	◆CO ₂ 排出量=一般廃棄物焼却量×(1 −水分含有率)×プラスチック類含有率×排出係数	生活環境課資料					

CH₄

分野	部門	算定式		出 典						
非工名	非エネルギー起源									
燃	燃料の燃焼									
	運輸部門	重輸部門								
	自動車	自動車の 走行	◆CH₄排出量=市車種別燃料別保有台数×全国の車種別1台 当たりの走行距離×排出係数	上越市統計要覧、道路交通センサ スからみた道路交通の現状、推移 (国土交通省道路局)						
廃	棄物									
	廃棄物部門									
	廃棄物 の焼却	一般廃棄物	◆CH₄排出量=一般廃棄物焼却量×排出係数	生活環境課資料						
		下水道処理	◆CH₄排出量=下水処理量×排出係数	生活排水対策課資料						
	排水処理	生活排水 処理	◆CH₄排出量=処理対象人員×排出係数	生活排水対策課資料						
		し尿処理	◆CH₄排出量=施設種類毎のし尿及び浄化槽汚泥処理量×排出 係数	生活排水対策課資料						
農	農業									
	産業部門									
		水田	◆CH ₄ 排出量=水田作付面積×排出係数	上越市統計要覧						
	農業	家畜の飼養	◆CH₄排出量=平均的な飼育頭数×排出係数	上越市統計要覧						
		家畜の排せ つ物の管理	◆CH₄排出量=平均的な飼育頭数×1頭当たりのふん尿量× ふん尿の有機物含有率×排出係数	上越市統計要覧						

 N_2O

分野	部門	算定式		出 典					
非エネ	トエネルギー起源 								
燃	料の燃焼								
	運輸部門								
	自動車	自動車の 走行	◆N₂O排出量=市車種別燃料別保有台数×全国の車種別1台 当たりの走行距離×排出係数	上越市統計要覧、道路交通センサスからみた道路交通の現状、推移 (国土交通省道路局)					
廃	棄物								
	廃棄物部門								
	廃棄物 の焼却	一般廃棄物	◆N ₂ O排出量=施設種類毎の一般廃棄物焼却量×排出係数	生活環境課資料					
		下水道処理	◆N ₂ O排出量=下水処理量×排出係数	生活排水対策課資料					
	排水処理	生活排水 処理	◆N ₂ O排出量=処理対象人員×排出係数	生活排水対策課資料					
		し尿処理	◆N₂O排出量=施設種類毎のし尿及び浄化槽汚泥処理量×し 尿及び浄化槽汚泥の窒素含有率×排出係数	生活排水対策課資料					
農	業								
	産業部門								
		家畜の排せ つ物の管理	◆N₂O排出量=平均的な飼育頭数×1頭当たりのふん尿量× ふん尿の窒素含有率×排出係数	上越市統計要覧					
	農業	耕地におけ る肥料の使 用	◆N₂O排出量=耕作種毎の耕地面積×排出係数	上越市統計要覧					

HFC

分里	野		部門		算定式		出	典	
非工	非エネルギー起源								
	代替フロン等3ガス								
		民生	部門						
			民生	冷蔵庫	▶市保有台数=単身世帯以外の保有台数+単身† ▶HFC排出量=市保有台数×排出係数	世帯数	上越市統計要覧		
			家庭	エアコン	▶市保有台数=単身世帯以外の保有台数+単身↑ ▶HFC排出量=市保有台数×排出係数	世帯数	上越市統計要覧		
	輸送部門								
			自動車	カーエアコン	▶HFC排出量=市保有台数×排出係数		上越市統計要覧		

(2) 事務事業編の算定方法

事務事業の温室効果ガス排出量の算定は、ガイドラインに基づき、下表の方法により行います。

温室効果ガス排出量 = 活動量^注 × 排出係数 × 地球温暖化係数

注:電気使用量、各種燃料の使用量や自動車の走行距離など

【活動量別のエネルギー使用量】

区分	活動項目	単位	2013年度 (基準年度)	2021年度 (直近年度)	基準年度と 直近年度比
	ガソリン	l	293,850	287,036	-2.3%
	灯油	l	2,279,211	1,395,094	-38.8%
	軽油	l	320,894	225,430	-29.7%
エネルギー	A重油	l	1,102,612	565,855	-48.7%
起源	液化石油ガス(LPG)	m	383,480	120,078	-68.7%
	液化天然ガス(LNG)	m	21,049	2,628	-87.5%
	都市ガス	m³	3,173,358	3,146,496	-0.8%
	電気	kWh	72,684,994	60,517,992	-16.7%
	自動車の走行(ガソリン車)	km	2,706,974	3,105,636	14.7%
	自動車の走行(ディーゼル車)	km	1,152,270	852,732	-26.0%
	自動車の走行(天然ガス車)	km	299,417	35,076	-88.3%
	一般廃棄物の焼却(廃プラスチック類)	t	2,781	6,200	123.0%
非エネルギー	 一般廃棄物の焼却(連続燃焼式焼却施設) 	t	25,813	52,784	104.5%
起源	一般廃棄物の焼却(准連続燃焼式焼却施設)	t	13,671	0	_
	下水処理	m³	11,150,073	12,623,799	13.2%
	し尿処理	m³	60,983	52,496	-13.9%
	浄化槽	人	70,791	60,264	-14.9%
	カーエアコンの使用	台	514	511	-0.6%